

水曜日の使い方返却されたテストはどうなるのか？

10月8日(水)

中間テストが終わり、ほとんどの教科でテストが返ってきたのではないのでしょうか。昔からテストを返してもらった時、定期テストの答案には、次のテストで得点をアップさせるコツが隠されています。

※定期テストの答案を活用した復習法と勉強の改善法を紹介します。

テストで間違えるパターンとしては、①「うっかりミス」②「見たことはあるけど、解き方を間違えてしまった」③「そもそもまったくわからなかった」の3つがあります。自分の答案を見直して、どのパターンの間違いが多いかを調べてみましょう。また、「実はわからなかったけど、たまたま正解した」という問題もあるかもしれないので、間違えた問題以外にもチェックすることを忘れずに。うっかりミスは、テスト中に焦ってしまう人に多く見られます。「そもそもまったくわからなかった」という問題が多い人は、足りていない知識を基本から覚え直す必要があります。教科書や授業ノートの見直しから復習を始めましょう。まったくわからない状態では復習もできないので、得意な友達の力を借りたり、先生に質問したりするのも一つの手です。また、部活動で疲れて自宅で勉強できていなかったり、授業中にウトウトしてしまったりしていませんか？「疲れていたら、早めに寝て、朝勉強する」「休日に多めに勉強する」など、自分の生活サイクルを改善し2学期の期末テストにむけて頑張っていきましょう。2学期の期末テストは11月25日(火)～27日(木)実施予定です。

また本日水曜日は『人権happiness』（丹波市地域人権教育事業）の日でしたが丹有新人大会前ということで運営委員会は行われません。来週より『人権happiness』後半戦が再開します。青垣中学校では、人権について考え、主体的に活動する自主組織の伝統が続いています。この青垣中学校の伝統を生かし、人権について考える自主的な組織をつくろうと結成されたのが『人権happiness』です。青垣中学校のすべての生徒を対象として、人権について考え、学ぶ自主的な組織を作ることとなりました。この組織が『人権happiness』です。今年度は、32名が参加してくれます。現地学習や丹波市人権交流集会に参加して人権について学びました。『人権happiness』で自主的に人権について学習し、身近な差別を許さず、考えて行動できる活動に全校で取り組んでいきたいと思います。『人権happiness』のメンバーのみなさんにはこの学習会のリーダー的な存在になってもらいたいと思います。人権弁論大会や文化祭当日の発表を期待しています。

